

## 活 動 記 録 書

開催日： 令和 3年11月4日(木) 天候 晴れ	開催テーマ： 金沢八景の道
開催場所： 金沢区	記入者： 川口 壽
参加人数： 会 員 24 名                      ビジター   0 名                      合計 24 名	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）：</p> <p>コース： 金沢八景駅～平潟湾プロムナード～夕照橋～染王寺～掩体壕（西側）～野島山展望台～弁天社～野島稲荷神社～掩体壕（東側）～旧伊藤博文金沢別邸（解散）</p> <p>金沢八景駅を出発し、まずは平潟湾を臨んで「武州金澤八景」の説明を受ける。歌川広重が描いた浮世絵が評判となり、江戸時代には物見遊山の客で人気の景勝地であったという。今は埋め立てが進んでしまったが、描かれた当時の「平潟落雁」・「洲崎晴嵐」・「野島夕照」の様子を想像する。プロムナードから眺める平潟湾は穏やかで潮風が大変心地よい。停泊している漁船や熱帯性の街路樹を楽しみながら、1kmほど歩くと「夕照橋」が見える。手づくり郷土賞に選ばれたという趣のある橋で室の木と野島を結んでいる。</p> <p>野島に入り、真言宗御室派染王寺を訪ねる。門前には、庚申塔、六地藏、石塔が鎮座し、寺の中には江戸時代に造られた筆子塚が4基ある。今では野島唯一のお寺となっている。</p> <p>次に西の掩体壕を外から見学する。長さは260mあり野島山の麓を東西に貫いている。旧海軍が3か月の突貫工事で終戦の前日に完成させた。夏島のトンネルと合わせて戦闘機を100機収容できたという。ここから野島山展望台に239段の階段を登って向かう。キツイ階段であったが、頂上から眺める360度の眺望は素晴らしい。生憎富士山ははっきりと見ることは出来なかったが、ベイブリッジやランドマークタワー、房総半島等の遠望を眺め、眼前には広がる海岸線や広重が描いた「称名晩鐘」の景色を楽しむことが出来る。また、野島山には貝塚の遺構がある。これは、市内に現存する最古の縄文時代早期後葉の遺跡で市の指定史跡となっている。</p> <p>再び239段の階段を下りて野島稲荷神社を訪ねる。野島の総鎮守で、鎌倉時代創建という。野島は、徳川幕府からの保護が厚かったとされ、南端には徳川頼宣の塩風呂御殿と呼ばれる別邸があったという言い伝えがあり、この稲荷神社が御殿の鬼門にあたる。</p> <p>江戸時代には野島から江戸に鯛を運んでいたという。</p> <p>島の東の公園沿いを歩き、今度は東側の掩体壕を眺める。トンネル内が非公開なのは少し残念。乙舳海岸線や海苔の養殖場を見ながら、最後の訪問場所である旧伊藤博文金沢別邸にたどり着く。伊藤博文は故郷の萩に似ているこの金沢の地を愛し、野島に別荘を設けた。敷地約9千坪、明治時代の茅葺寄棟屋根の田舎風海浜別荘建築だ。明治時代金沢近辺は、東京近郊の海浜別荘地として注目され、大正天皇や韓国皇太子なども訪れたという。博文公が船で訪れる際は別荘の海岸沿いにある灯籠を灯して出迎えたという。数少ない貴重な別荘建築遺構で、平成18年に市の指定有形文化財に指定された。春には庭の牡丹も楽しめる。</p> <p>旧伊藤博文金沢別邸で解散挨拶を行い、希望者はその後邸内見学となった。</p>	
<p>参加者の状況・意見など：</p> <p>当月のコースは、本来は鎌倉探訪の予定であったが、鎌倉ガイド協会が新型コロナウイルス感染予防の自粛期間である為、金沢ガイド協会による案内で金沢八景の散策となった。</p> <p>野島山坂道ルートが整備工事で閉鎖となり、階段で上ることとなったが4名を除き皆無事にキツイコースを終了することが出来た（4名は別ルートで待機）。天候に恵まれ楽しい探訪となった。</p>	
<p>次回の予定：</p> <p>12月 2日（木）10時 鎌倉駅西口公園集合 テーマ「13人の宿老」北条義時（仮題）</p>	